



村木事務次官と松井会長

日身連の新執行部体制が、6月1日からスタートしました。現在、国において議論されている障害者差別解消法の対応要領や対応指針の策定や障害者

村木厚子事務次官に面談 日身連会長就任のご挨拶

総合支援法施行後3年の見直し、そして、障害者権利条約に基づく政府報告作成等、極めて重要とされる事項に対して、既に、日身連も会議のメンバーとして関わっているところです。障害者法制度の改革において、日身連が担った役割も大きかったこと等もあり、現在、おかれている重要な課題の解決を含め、今後の障害者施策がさらに推進されることへの期待を込め、松井逸朗新会長が、6月19日、厚生労働省を訪れ、村木厚子事務次官に会長就任のご挨拶。また、嵐谷安雄前会長もこれまでのお礼と相談役就任の挨拶で同席していただきました。村木事務次官には多忙を極めるなかでしたが、「日身連は障害者団体の兄貴的存在として日身連には頑張ってもらいたい。」との激励をいただき、和やかな懇談の時間をもつことができました。

日身連

発行所
社会福祉法人
日本身体障害者団体連合会
(中央障害者社会参加推進センター)
発行人 松井 逸朗
東京都豊島区目白3丁目4の3
デァダंकビル4階
TEL 03-3565-3399(代)
FAX 03-3565-3349
http://www.nissinren.or.jp
Japanese Federation of
Organizations of the
Disabled Persons (JFOD)
年間購読料 正会員1部 300円
非会員1部 1000円



ワーキングセッションの様

◆内閣府障害者政策委員会
委員会では、障害者権利条約に基づく政府報告の作成に向け、第3次障害者基本計画の実施状況について議論が行われています。計画の分野別施策のうち、特に丁寧な議論が必要と思われる4分野(成年後見制度も含めた意思決定支援、精神障害者・医療ケアを必要とする重度障害者等の地域移行支援、インクルーシブ教育システム・雇用、情報アクセシビリティ)についてはワーキングセッションを設け、議論が進められました。6月29日の第22回をもって、これまでに議論されたことを整理し、事務局で「議論の整理案」が作成されます。さらに、その案をたたき台に議論を行い取りまとめ、8月末に外務省から提示さ

障害者施策関連の動き 権利条約政府報告作成に向けて

れる政府報告案と併せて議論し、9月下旬に政府報告案を取りまとめる予定です。



ロン・マッカラン氏

◆政策委員会でマッカラン氏 基調講演
前国連障害者権利委員会委員長のロン・マッカラン氏が、来日し、5月29日の第21回委員会で基調講演が開催されました。日本が条約の締約国として義務付けられている政府報告の作成に向けた対応や権利委員会での審査等のほか、パラレルレポートについての在り方等について講演されました。そのなかで、良い政府報告とは「正直な報告」であり、日本が条約批准によつてできたこと、できていないこと、また、課題とすることをしっかりと報告することが大切であるとコメントされました。